

4-1-11 放射線診療部

4-1-11-1 放射線診断科（画像診断）

1. 概要および特色

1.1 24時間放射線診断業務

放射線診療部放射線診断科では全ての画像診断（循環器科の心臓超音波検査および心臓カテーテル検査、産科の超音波検査、歯科の単純写真を除く）を放射線科医が担当し、責任をもって読影報告書を作成し、検査結果を各診療科へお返ししている。また、各診療科とのカンファレンスを放射線診療部内にある画像カンファレンスルームで行なっており、画像診断の診療側からのフィードバックが行なわれるような体制を取っている（表）。当直時の画像診断は超音波診断、単純写真からCT検査まで常時行なってリアルタイムに救急診療のサポート体制を取っており、翌朝救急センターで画像カンファレンスを行なっている。また、ICUとNICUへは毎日正午頃に画像診断医が出向いて画像カンファレンスを行っている。

1.2 院内カンファレンス

院内カンファレンス

月曜	総合診療部カンファレンス
	胎児カンファレンス
火曜	外科カンファレンス
水曜	整形外科カンファレンス（隔週早朝）
	救急カンファレンス
木曜	泌尿器カンファレンス
	神経カンファレンス
	呼吸器カンファレンス
	腫瘍カンファレンス（隔週）
金曜	
毎日	救急センター、ICU・NICU カンファレンス

1.3 院外カンファレンス

月1回程度開催される院外でのカンファレンスに、放射線診療部から数多く参加している。

主な院外カンファレンス

小児放射線診断勉強会	首都圏の小児画像診断に携わる放射線科医による症例検討会。月1回第2水曜日開催。
小田急カンファレンス	主に神奈川県（小田急沿線）の大学病院等の放射線科医師による症例検討会。月1回第1木曜日開催。
こまばイメージング研究会	城南地区の中核病院等の医師による画像診断症例検討会。年3-4回開催。

2. 診療活動、研究活動、研修活動など

2.1 放射線診断

全ての放射線画像診断（超音波検査、核医学検査を含む）を臨床各科の協力により放射線科医が施行し、その画像に対し、一部を除き、放射線科医による読影レポートを作成している。スタッフ8名、レジデント2名でこれに当たっているが、ナショナルセンターの責務として小児放射線診断医を育成することを負っているためにレジデント枠は7名となっている。このことは、同時にその責務の重さを肝に銘じ、与えられた業務（すなわち患者様ならびに担当チームの各医師に役立つ画像診断情報の提供）の遂行を放射線診療部の最重要目標としている。

放射線診断科スタッフ

職名	氏名	専門医など
医長	野坂 俊介	放射線科専門医
	岡田 良行	放射線科専門医
医員	宮寄 治	放射線科専門医
	北村 正幸	放射線科専門医
	堤 義之	放射線科専門医、日本小児科学会専門医
	宮坂 実木子	放射線科専門医
	谷 千尋	放射線科専門医
	大楠 郁子	放射線科専門医、日本小児科学会専門医
レジデント	岡本 礼子	日本小児科学会専門医
	絹巻 暁子	日本小児科学会専門医
	野崎 太希	放射線科専門医
	四宮 あや	日本脳神経外科学会専門医

今年度の画像診断業務として行った患者数はのべ 57,048 人であり、単純写真については診断報告書が 30 分以内に主治医の元に届くように読影している。また、日々の業務終了後、スタッフとレジデントによるレビューを行い、情報の共有化を図るとともに教育にも役立っている。レビューを行うことで、画像診断検査を行う各患者の情報が把握できるという利点がある。

平成 19 年度診断業務	人数
単純写真	23,329
ポータブル写真	13,272
透視・造影検査	1,809
CT	4,126
MRI	3,576
血管造影および IVR	58
手術室イメージ	389
超音波診断	6,577
超音波下穿刺術	158
骨塩定量	754
総計	57,048

2.2 核医学診断

核医学診断業務は放射線診断業務の一部と考えている。成人領域の病院において年少児への検査では眠剤投与で鎮静が行われているが、当センターでは患児に液晶テレビで好きなアニメーションを見せることで、鎮静なしで検査を行うことが多い。このことにより、より生理的な環境下での検

査が行われていることになる。

平成 19 年度核医学診断業務	件数
呼吸器	87
骨	40
腫瘍・炎症	56
循環器	21
消化器	90
内分泌	19
脳	151
泌尿生殖	192
総計	656

2.3 研修受入

院内・院外からの長期・短期の研修を随時受け入れ、小児画像診断についての研修教育活動にも積極的に取り組んでいる。平成 18 年度の研修受け入れは以下の通りである。

依頼施設	研修期間		
国立成育医療センター周産期診療部	2007/5/1	～	2007/6/30
国立成育医療センター周産期診療部	2007/9/1	～	2007/10/31
国立成育医療センター周産期診療部	2007/7/1		2007/8/31
国立成育医療センター総合診療部	2007/10/1	～	2007/11/17
国立成育医療センター総合診療部	2007/7/1	～	2007/7/30
国立成育医療センター総合診療部	2007/7/1	～	2007/8/31
国立成育医療センター総合診療部	2008/1/8	～	2008/3/31
国立成育医療センター総合診療部	2008/1/8	～	2008/2/29
聖マリアンナ医科大学小児科	2007/4/2	～	2008/6/31
聖マリアンナ医科大学小児科	2007/7/1	～	2007/9/31
聖マリアンナ医科大学小児科	2007/10/2	～	2007/12/25
聖マリアンナ医科大学小児科	2008/1/8	～	2008/3/18
UCSF, Department of Pediatrics, CA	2008/11/19	～	2008/12/15
東京医療センター小児科	2007/12/1	～	2008/1/31
東京医療センター小児科	2007/12/1	～	2008/1/31
川崎市立川崎病院小児科	2008/2/25	～	2008/2/29
Jacobi medical center, NY	2007/4/1	～	2008/3/31
慶応義塾大学放射線科	2007/4/1	～	2008/3/31
京都府立医科大学小児科	2007/4/1	～	2008/3/31
自治医科大学	2007/4/1	～	2008/3/31
川崎市立川崎病院	2007/4/1	～	2008/3/31
横浜青葉台クリニック	2007/4/1	～	2008/3/31

2.4 研究員受入

早稲田大学経営工学部より大学生、大学院生の無給研究員2名など、共同研究関連の無給研究員を随時受け入れている。平成19年度の状況は以下の通りである。

共同研究関連院外研究員	期間	人数
無給研究員（放射線技師）	12ヶ月	1名
無給研究員（学生）	12ヶ月	2名